

近藤和美的パミール登山歴（季節はすべて夏）

年度	山名(標高 m)	国・地域	登高ルート	派遣団体	担務	隊員数	登頂者数	自身の到達高度 (年齢)	備 考
1984	コルジェネフスカヤ(7105m)	ソ連・タジク	ツェトリン	九山同人+小倉由美子、佐藤知恵子	隊長	3+2	5	7月31日 登頂(42)	近藤にとって初の7000m峰。現地で隊長が滑落負傷した女性隊の2人を吸収。
	レーニン(7134m)	ソ連・キルギス	ラズジェリナヤ	九山同人		3	3	8月6日 登頂(42)	隊員の高所速度を勘案してコムニズムを諦め、無難なレーニンに。
1986	コムニズム (イスモイルソモニ 7495m)	ソ連・タジク	バロートキン	九山同人+NCP	共同隊長	6	4	8月3日 登頂(44)	前回の宿題、最高峰に登頂。8000m峰無酸素登頂への自信を抱く。
	コルジェネフスカヤ(7105m)	ソ連・タジク	ツェトリン			4	2+2	8月9日 登頂(44)	コムニズム登頂の余勢を駆って実質2日間のアルパインスタイルで登頂。
	レーニン(7134m)	ソ連・キルギス	ラズジェリナヤ～リプキン			4	2+2	8月15日 登頂(44)	全装備を担いで登高ルートとは異なるルートを下山するアルパインスタイル。
1988	コムニズム (イスモイルソモニ 7495m)	ソ連・タジク	ブレベストニク～バロートキン	日本勤労者山岳連盟	隊長	5	—	6600m(46)	古典的ルートから挑んだが、途中敗退。2年前のルートを下山した。
	レーニン(7134m)	ソ連・キルギス	ラズジェリナヤ	日本勤労者山岳連盟+三角朗		2+1	3	8月14日 登頂(46)	上記終了後3人が帰国、残る2人と現地吸収の1人とで登頂。
1996	コルジェネフスカヤ(7105m)	タジキスタン	ツェトリン	日本勤労者山岳連盟	隊長	12	12	8月14日 登頂(54)	男女6人ずつの多人数隊で全員登頂を果たす。
	キーロフ東峰(6100m)	タジキスタン	バロートキン	日本勤労者山岳連盟+坂本正治	隊長	3+1	4	登頂(54)	有志3人と現地吸収の1人とでコムニズム速攻を図るが前衛峰登頂にとどまる。
2001	ムスターグアタ(7546m)	中国・新疆ウイグル	西面	日本勤労者山岳連盟	隊長	4	—	6800m(59)	最終キャンプ(C3)に上がるが継続的風雪で登頂断念。

近藤和美的天山登山歴（季節はすべて夏）

1989	ハンテングリ(7010m)	ソ連・カザフ～キルギス	北面ソロマトフ～南面ポグレベツキー	日本勤労者山岳連盟	隊長	15	12	8月6日 日本人初登頂(47)	この年から解禁。北面から登ったが、悪天候で雪崩の危険が増し南面を下山。
1990	ハンテングリ(7010m)	ソ連・キルギス	ポグレベツキー	日本勤労者山岳連盟	隊長	6	4	6600m(48)	解禁されたボベータの順応も兼ねて挑んだが、調隊員に付き添って中途下山。
	パージャプシャベラ (ポベータ西峰 6918m)		ズビョズドーチカ氷河～西峰北稜			4	4	8月13日 登頂(48)	上記に続いて天山最高峰に向かったが悪天候と日程切れで西峰どまりとなる。
1991	ハンテングリ(7010m)	ソ連・キルギス	ポグレベツキー	日本勤労者山岳連盟	隊長	5	5	8月2日 登頂(49)	南面から全員登頂。だがこのルートは雪崩の危険で現在採用されていない模様
	ポベータ(7439m)		前年ルート～西峰～中ソ国境稜線			5	4	8月14日 日本人初登頂(49)	8日間のワンプッシュスタイルで登頂。翌年以降の8000m峰登頂の礎を築いた。

その他の7000m峰登頂歴

1995夏	ヌン(7135m)	インド	北西稜	日本勤労者山岳連盟	隊長	7	6	8月16日 登頂(53)	カシミールの名峰。自力でルートを拓いて充実感溢れる成功を得た。
1997春	リスム(7050m)	中国・チベット	北面	日本勤労者山岳連盟	隊長	7	4	5月10日 初登頂(55)	シシャバンマの衛星峰。高峰初級者向けにチベット側の容易なルートを採用。
2006秋	ナンパイゴスム南峰(7240m)	ネパール	南稜	日本勤労者山岳連盟+ネパール登山協会	隊長	2+5	7	10月26日 初登頂(64)	日ネ国交50周年記念登山。ネパール政府・日本大使館の後援も得て実行した。